



(こども版) としょかんだより No.276

2007年

3月号

わくわく本だな

富山市立図書館

今月のおすすめ



= 1・2年
= 3・4年
= 5・6年

- あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします -

「こよみともだち」(えほん) わたり むつこ / 作 福音館書店



ひとりぼっちの1月さんは、ごちそうをもって2月さんの家へあそびに行きました。ゆきがっせんをしてなかよくなったふたりは、3月さんの家へ出かけます。次に3人が4月さんの家にあそびに行き、さいごにこよみたちは12人になりました。

「ピトゥスの動物園」(どうぶつえん) サバスティア・スリバス / 作 あすなる書房

重い病気になったピトゥス少年を外国の大きな病院に入院させるため、5人のなかまはお金を集めようとします。オウムや犬、ウサギ、トカゲなどを集め、動物園を作ろうとしますがうまくいきません。町中の子どもたちに協力してもらい、大人にも相談しながら、動物園作りを進めていきました。



「親子で楽しむ絵かきうた104曲」(ちしきの本) ブティック社



「まるかいてちゃん」や「ぼうがいっぱあったとき」などのうたにあわせて線をひくだけで、絵がかけますよ。がいこつやおひなさま、コックさんなどたくさんしょうかいされています。うたいながら、楽しい絵をかいてみませんか？

あたらしくはいった本

えほん



「ラッキーボーイ」 スーザン・ボウズ / 作 評論社

ガスティン家のイヌは、世話をしてもらえず、体はいつもよごれていました。ある夏の日、体をひやそうと庭にあなをほりはじめたイヌは、となりの家の庭にぬけ出ます。そこにはおじいさんが一人きりでさびしく暮らしていました。

ものがたり



「キャベたまたんてい 100おく円のたからさがし」

三田村 信行 / 作 金の星社

かいとうセロリが、ごうか客船のたからさがしゲームにさんかするとよこくしてきました。さっそく、キャベたまたんていも、船にのりこみます。はたしてセロリのへんそうをみやぶることができるでしょうか！

「ヌルロン星人をすくえ！」

千東 正子 / 作 岩崎書店



ぼくは31世紀の小学生です。ぼくと愛犬のチャッピーが校外学習で行ったのは、50年後にめつぼうしてしまうというヌルロン星です。コンピューターがなんでもやってくれるきれいな星で、ヌルロン星人はのんびりくらしています。いったいどうしてめつぼうしちゃうんだろう？



「おこりんぼの魔女がまたやってきた！」

ハンナ・クラーン / 作 早川書房

たいくつしていた魔女は、本でおもしろそうな魔法“めまい薬”を見つけて、さっそく作り始めました。それを見たノウサギとフクロウとハリネズミがじゃまをします。おこった魔女は、フクロウにめまい薬をかけますが、効き目がありません。

ものがたり

「^{ゆうれいやしき}幽霊屋敷を^{ちようさ}調査せよ！ ^{やまてちようたんてい}山手町探偵クラブ」

那須 正幹 / 作 金の星社



古い^{ようかん}洋館に幽霊が出るといううわさを聞いて、探偵クラブ4人組が調査にのりだしました。ところがそのあと、夢でうなされたり、頭の中で誰かに話しかけられたりと、4人組に奇妙なことがおこります。幽霊の呪いではと心配になり、静ばあちゃんといっしょに、再びお化け屋敷に出かけました。

ちしきの本



「^{せかい}世界一おいしい火山の本 ^{ふんかじっけん}チョコやココアで噴火実験」

林 信太郎 / 作 小峰書店

火山のしくみや噴火のイメージを、チョコレートやココア、アイスクリームを使った実験でわかりやすく説明しています。

火山噴火や火砕流のこわさを、キッチンでできるかんたんな実験を通して知ることができる本です。万が一の時に身を守ることができますよ。

わたしはだれでしょう？



おはなしの^{しゅじんこう}主人公あてクイズ

ぼくは、なんでも知りたい、いたずら好きなこざるです。
いつもさわぎをおこしちゃうけど、みんなの人気ものなんだよ。

きいろいぼうしのおじさんといっしょに、なかよく
くらしているんだ。

さて、ぼくはだれかわかるかな？



(こたえは、さいごのページにのってます)



名作をよもう！

今月の1さつ



「ひげよ、さらば」 上野 瞭 / 作 理論社

ナナツカマツカの丘に住む野良猫たちは、自分勝手に暮らしていました。しかし、片目と呼ばれている猫は、野良犬の群れにえさばを奪われることをずっと心配していました。そこへ、記憶をなくした猫ヨゴロウザがやってきます。片目は、この丘を守るために猫の共同体を作ろうと計画し、ヨゴロウザをリーダーにしようとしています。

本ととしょかん まめちしき

その10 < 本のラベルを見てみよう！ >



本のラベルは3段になっていて、上の段に数字がついています。その数字はそれぞれ本の内容を表していて、たとえば、“4”は理科の本、その中でも“47”は植物、“48”は動物というふうに決められています。2段目は、本を書いた人の名前のかしら文字です。図書館の本は、ラベルをもとにならんでいるんですよ。



クイズのこたえ

こざるの名前は“ ジョージ ”です。

「おさるのジョージどうぶつえんへいく」

「ききゅうにのる」「こいぬをかう」

「おもちゃやさんへいく」ほか、

たくさんあります。読んでみてくださいね。

(H . A . レイ / 作 岩波書店)

< 編集・発行 >

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4 - 50

電話 076 - 432 - 7272

